



んとウグイスの声。この時期にウグイスの声が聞かれるとは思いませんでした。ここも尾根伝いを上ったり下ったりを何回か繰り返しながら進みます。視界は無いが大木の感じいい自然林が続く。時には急な木段もありました。そして、“わらび”も発見。しばらく行くと林道を横断し、転軸山登り口に着く。最後の上りだ、もう一息。



摩尼山頂上

すると講師の鐘の合図が聞こえた。転軸山（てんじくさん）（915m）到着。ここにも祠があった。ことあるごとに祠があり、やはり霊山高野山なる証でしょうか。

アップダウンの繰り返しでも足腰は大丈夫だったけれど、べとつく汗に「温泉に入りたいねー。」小休止後下る。下りはやはり早い。あっという間に奥の院横の川に出た。飛び石を渡り、奥の院御廟裏に 10 時 45 分到着。駐車場前で説明ガイドさんと 11 時に待ち合わせ。待たせては申し訳ないので急いで歩く。

高野三山というものの、三山とも眺望が望めずガッカリ、残念でした。しかし、歴史に想いを馳せながら歩いたので楽しかったです。

その後、市内観光隊と合流し説明ガイドの林氏の話を知りました。弘法大師御廟のある奥之院は、一の橋から約 2 キロの参道に樹齢数百年もの杉木立があり、20 万基以上ともいわれる名だたる武将・諸大名をはじめ多くの方々の墓碑が建立されている。中でも「崇源夫人五輪石塔」が墓石群の中で最も高く大きいことから「一番石」と呼

ばれ 6.6mある。徳川二代将軍 秀忠の妻で、NHK 大河ドラマ「お江」の墓所だそう  
うだ。因みに「二番石」は「安芸浅野家供養塔」、「三番石」は、「加賀前田家供養塔」  
で、いずれも立派すぎるし、当時どのようにして運んで積み上げたのかミステリーで  
ある。



ガイド・林さんの説明



崇源夫人（お江）の  
墓

また、鳥居の違い・墓石に書かれた「逆修」（生前に墓を建立し、死後の冥福を祈  
る）など、林氏からはいろいろと説明していただきました。途中、私はご朱印をもら  
うため最後まで聞くことが出来ず残念でしたが、納経所では、達筆なご朱印を有り難  
く頂戴しました。

時間の都合上ゆっくり見て廻ることが出来ませんでした。高野山参拝は有意義で  
した。ありがとうございました。

感謝・多謝・合掌

